

池原社長

東日本大震災から1年が経ちました。あらためて、震災で亡くなられた皆様のご冥福を心からお祈りすると共に、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

ようやく決算が終わりました。1年間御苦労様でした。あらたなスタートでこの1年も頑張らしましょう。

さて、昨年の暮れの出来事ですが、12/23まで元気だった妻の叔母さんが12/27急に音信不通になり急遽、叔母さんの自宅を訪問しました。具合が悪く身動きが出来ない状態だったので、救急病院へ救急車にて運びました。骨折はしていないというので入院の必要は無いとの事でした。このままでは仕方がないので、私の自宅に連れて来て、お正月を過ごしました。そこで叔母さんが何十年ぶりにかに、お雑煮を食べたり、また私の家族みんなで過ごしました。結婚をしてなく、子供もない叔母さん曰く「家族って 良いね!」。この言葉を聞き、あらためて「家族の絆」を自分なりに感じ取りました。

また、最近「終活セミナー」を聞いてきました。「人生! 谷あり、山あり」で、残りの人生をより豊かに過ごすか? お墓・相続・最近のお葬式事情の話でした。

このセミナーと叔母さんの件で、残りの人生を考えた時、より一層実現可能な目標を設定して行動して行きたいと思います。

菱沼専務

皆様、この時季ご機嫌如何ですか?

私は、毎日マスク着用で仕事をしております。杉などの花粉症です。

小さいときは、家の裏山で、木登りをしていたりして良く遊んだものです。そんな訳で花粉症にはならないと思って居りましたが、5～6年程前に発症しました。この時季は朝一番にクシャミで始まり、鼻水、目がしょぼつくやらで、1日が始まります。

もう少しの時間辛抱です。「目のカユミ、春杉花粉、通り過ぎ。」

寺谷部長

東日本大震災から1年が経ちました。

お亡くなりになった方々のご冥福を祈ると共に、被災された方々にお見舞い申し上げます。

今、東北に向かう新幹線の窓から見える雪景色を眺めながら様々な思いが込み上げて来ています。

もう一度確認しよう地震遭遇時の対応

揺れが収まったら火の始末、消火が最優先。

地震発生時に家族で落ち合う場所を決めておく。

災害時には車を使用しない。

エレベーターの場合、複数階のボタンを押して止まった階で降りて階段で避難する。
(閉じ込められた場合は長期戦を覚悟して体力を消耗しない、非常ボタンを押し続け非常電話で呼び続ける)

建物の中にいた場合、火災の煙に備えて透明のビニールを備えておく。(煙を吸わないようにしましょう。)

商業ビルにいた場合、絶対に出入口に殺到しない。出入口は一つでは無い。

屋外にいた場合。

1. 頭上注意 2. 車に注意 3. 陥没や亀裂から離れる 4. 水辺から離れる

沿岸沿いの場合は、震度4程度以上なら津波が来ると思って、すぐに高台に避難する。

地下鉄は公共交通機関の中では比較的安全。パニックにならない事を心掛ける。

携帯電話から災害用伝言板サービスを利用する。

ドアや窓を開けて避難口を確保。ガスの元栓を締め、家を離れる時は必ずブレーカーを落とす。

いつ何処で大地震に巻き込まれるか分かりません。地震に遭遇した時の対処法を再確認しておきましょう(^)

第二ブロック 江口ブロック長

つい先日、伊豆の河津に河津桜を見に行ってきました。河津桜は緋寒桜の一種で早ければ2月上旬には開花する品種です。毎年桜祭りがおこなわれ多くの観光客で賑わいます。今年は十数年ぶりの寒さの影響があり3週間も開花が遅れたそうです。しかし、私が訪れた時には見事な満開で、桜の緋色、菜の花の黄色、空の青が見事なコントラストを見せ確実に春の訪れを感じさせてくれました。

ダイワ薬品も4月。創業66年の春を迎えました。第二ブロックもこれまでと変わり、柏営業所が加わり千葉県全体を統括するようになりました。

第二ブロックも3つの営業所の長所を持ち合い、それぞれの短所を自覚し改善しながら、3つの営業所のカラーで第二ブロックのコントラストを奏で、実りのある創業66年にしましょう。

第一ブロック 溜ブロック長

寒い冬がやっと終わり、温かい春の日がやって来ました。

今年の冬は雪国は大雪に見舞われ、降雪により大きな被害がありました。また、風邪やインフルエンザも流行しました。私も2月末にインフルエンザA型に罹りました。

インフルエンザワクチンを接種していましたので、症状は軽く、最高37.7度の熱ですみました。病院でイナビルというインフルエンザ治療薬を服用しました。吸引タイプで、10歳以上は2本、10歳以下は1本服用します。そして薬局の窓口で、1度の吸引で済みますので、タミフルのように4日間服用する必要はありません。便利ですね。社員へも体験談として伝えました。でもやはり罹らないように注意するのが一番ですね。

そして3月11日が来て、東日本大震災から1年が経過しました。地震や津波による被害が大きく、また、決められない日本の政治により、復興・復旧はなかなか進まない状況です。1年過ぎて、被害者にとって復興・復旧が進展することを祈ります。そして、今回の事を決して忘れずに、次に起こると言われている、首都圏直下型の大地震に備えていかなければと思います。

春を迎えて、会社も新年度がスタートしました。今年は、まず大震災などが無く、平穩無事であること。そしてお客様に対して役に立つ薬屋であること。そのための日々の勉強をする。是非実績を伸ばせる1年になるように精進してまいります。共に皆で頑張りましょう。

草加営業所

季節はようやく春となってきましたが、まだまだ寒い日が続いています。今年は例年より気温も低い日が多くあり、インフルエンザや風邪症候群が発生しました。日々の生活の中で、ストレスや生活習慣の変化などで自律神経が乱れて、血液の流れが悪くなる事で、冷え症や低体温症の方が増加し、そして胃腸障害となりさらには免疫力の低下へつながる事が影響しています。

3月は卒業・4月は新入学や新社会人などの新たなスタートの時期ですが、私たちの住む日本も、昨年3月11日の東日本大震災を受け、1年となりましたが現在、復興・再生に前進しています。

最近、首都直下型地震も、震度6強から震度7強と修正された報道がありました。関東地方でも、いつ地震が起きるか不安な状況で、ストレスはさらに強まっております。そこで、私たちは配置薬の仕事を通じて、お客様をさらに健康へとサポートし、元気にしていかななくてはなりません。それが役目であります。そのために、自分自身が元気で明るく対応しなくてはなりません。

毎回の訪問時には、じっくりとお客様の話しを聞くことを重点として、さらに信頼される営業となるよう、営業所一同努力して参ります。

千葉営業所

寒かった冬も終わり、ようやく暖かくなってきました。昨年度、我々千葉営業所では、1年間人員が定まらず会社への多大なるご迷惑をお掛けしました。今年度は心機一転、早急に営業員を固定し万全の体制で臨みたいと思います。また来年3月、今年度が終わったときには、年間の売上げが一人平均で我々千葉営業所が一番上に居るよう努力していきます。そして今年こそ「登録販売者」全員登録させます!!!

宇都宮営業所

うららかな好季節となり、春たけなわの日和となりました。

春の便りが各地から届くといいですね！

私達が住んでいる町にも、花自慢の見所があります。江戸時代に五街道の一つとして、日光参拝の折など多くの人達に利用されてきた日光街道（国道119号）です。約16キロの沿道は【さくら名所100選】に認定された見事な桜並木です。まるで、桜のトンネルをドライブしているみたいな感覚になります。

そんな桜を見ていると、新たな思いが湧きあがってきます。

皆さんも、桜を見上げ、一息ついてみては・・・

水戸営業所

「どの位、田んぼ作っているのですか？」

「いやぁ～、今は家で食べる分だけだねえ。」

茨城県で、その話が出来ないと、営業としての会話に支障がでる場合があります。(^^)v

農業を経験したことのない自分にとっては、「この人たちは何を言っているんだろう？」最初はそう感じていました。

そこでこれから農繁期に入ってくる茨城県の、農業業界用語や方言を自分の経験から紹介しましょう。

田んぼ編

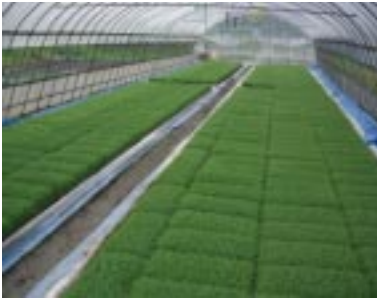
わせ（早稲）	早く実る稲
くろかき（くろかけ）	田んぼの水がもれないよう土を整地し畦（あぜ）を作ること
代掻き	土と水を混ぜて土を柔らかくすること
一町ぶ（一町）	田んぼの広さの単位 一反 = 300坪単位 一町 = 3000坪
一反ぶ（一反）	“ 一反 = 300坪
一畝（いっせ）	“ 一畝 = 30坪
一俵	米の重さの単位 一俵 = 60kg (一反ぶ6～8俵の収穫 10俵はすごい！) (農協仕入れは14,000円位 20,000円はすごい！)
稲の苗作り	パレットでハウスにて作る。4月初め ゴールデンウィークが
田植えの場合	3条植え 6条植え 一度に3列や6列の田植えが出来る機械
(田植機)	
おだ干し	乾燥機を使わずに刈った稲を天日干しすること
陸稲（おかぼ）	畑で栽培される稲
もみすり	もみからもみ殻を取り玄米にする作業



くろかき



代掻き



稲の苗作り



6条植え乗用田植機



おだ干し



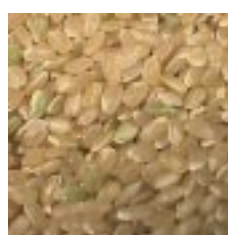
陸稲



もみ



もみがら



玄米

それらを踏まえて話すと

「そろそろ忙しくなりますね」

「そうだね。今は苗作りだね。」

「へー、さんのところは苗もご自分のところで作るんですね？」今は農協さんにたのんでしまう人が多いのにすごいですね。」

「俺んところは、何から何まで自分でやるよ。」
「へー、じゃあおだ干しなんかもするんですか？」
「いや、今は殆ど乾燥機にかけちゃうんだけど、自分ちで食べる分だけはやってるよ。」
「やっぱり、味とかちがうんですか？」
「そりゃそうだな。天日干しは微妙な乾き具合だからな。やっぱりうまいよ。」
「来週辺りは、くろかくんですか？」
「そうだな。そのころには、もう代播きまで終わってるな。」
「そしたら今度は水の管理で大変ですね。」
「おう。そうだよ。夜も見回りに行くから、結構疲れるな。」
「　　さんのところ、確か6条植えでしたよね？」
「へへー、それがよ、今年思い切って10条植え買っちゃったよ。」
「えー！10条？！この辺の人でそんなでかいの持ってる人いないでしょう？」
「そうだな。俺んちくらいだな。」
「じゃあ、他の人んちの田植えもやるようですね？」
「まあ俺の小遣い稼ぎだな。」
「今年は倍忙しくなるでしょうから、倒れないよう毎日このリバイスゴールドを飲んでくださいね。」
「いつもの倍の量を置いておきますから。」
「うまいねえ、じゃあ今日から毎日飲んでがんばるか！」
「そうですね。がんばっていっぱいおいしいお米が出来ると良いですね。」

こんな感じですね

郷に居れば郷に従え　　ということで・・・

それでは又　(@^)/

仙台営業所

東日本大震災から1年がたちました。被災地廻商し、家族、親族、友人を震災で亡くし、帰る故郷も無くなり仮設住宅で暮らすお客様。周りの近所も壊滅的で仮設住宅で暮らすのが嫌で1人で二階に住みながら暮らすお客様。様々な状況下で暮らすお客様にお会いしてきました。そんななかでも、嫌な顔ひとつ見せず私に接してくれました。逆に勇気をもらいました。私たちに出来る事。生かされた命。今を一生懸命に生きる。元気で動いて、明日を迎える。

山形営業所

震災から1年が過ぎました。山形は直接の被害は、少ない地域でした。その為津波の被害の大きい宮城県、原発の被害が大きい福島県。この両県から避難という形で、現在も、山形で生活を送っている方がまだまだ多いです。1年間あれば、いろいろと変化させるには、十分な期間のはずなのに・・・と感じてしまいます。次の1年間は、被災された方や、被災された地域にとって大きく変わる1年間である事。そして、昨年、J1から降格してしまったモンテディオ山形にとっても、J1復帰となる、1年間になって欲しいです。

木更津営業所

桜が舞う春を迎え、24年度がスタートしました。昨年度は人員も定着せずに会社の足を引っ張るような実績で大変申し訳有りませんでした。現在は新人2名を迎え5名体制となり全員で勉強会に重点を置き業務に励んでいます。

この仕事に携わり10年強ではありますが、本当に人と人との絆が大切である素晴らしい仕事なんだという事、そして配置薬を通して出来る絆という糸を長きに渡り紡いでいく事の大切さ、やりがい、喜びというこの仕事の魅力を先ず第一に伝えていく事を念頭に置き教える、育てると共にまた自分たちも学び新人育成に取り組み、営業実績を上げていきます。



柏営業所

都心では数年前に「雪と桜」を同時に見る機会がありました。絵としては素晴らしい風景でしたが、「自律神経を壊した自然界の経過」と考えると喜んでばかりはいられません。

今年・・・もしかしたら「梅・蓮・桜」が同時に見られてしまうかもしれません。ひょっとして「雪」もそこに加わってしまうかも？

昨年の震災を期に、30年後や、それ以降の未来を考えるようになった方は多くいるようで、それこそが「学び」ではないかと感じます。

柏営業所の面々も、正月太りをして豊かに実ったわき腹を夏に向けて削ぎ落していかなばなりません。

健康は自然を見習い随時処理・・・とは言え、なかなか・・・。

新学期のピュアな気持ちにあやかって、小さくても、確実に羽ばたきたいものです。

大宮営業所

大震災から1年が経ち、義援金やボランティアなどで被災しなかった人たちは、こんな形で協力しあって、被災地の事を思ってきたと思います。その中から、絆という言葉が出てきたと思います。

仕事も仲間がいて、自分がある、営業所の仲間も絆という言葉で協力しながら助けあって大宮営業所も盛り上げていこうと思います。